

11月27日(日)、中部楽器技術専門学校1号館21教室にて、本校主催のピアノ調律科卒業生研修会を実施いたしました。

今回は、台湾調律師協会第7代会長 林大嘉氏による「UPピアノのスピード整音」の技術研修を実施いたしました。

今回の報告書を通して、日々の業務にお役立ていただけましたら幸いです。

—— 中部楽器技術専門学校 ——

コストパフォーマンスを実現する スピード整音技術



林大嘉氏による講義の様子。
手元をビデオカメラで写し、細部まで作業を確認できるようにしました。

整音作業を一つ一つ丁寧に説明しながら講義は進みました。また、講義を聴くばかりではなく、実際に参加者も林氏の工具に触れることができたり、疑問点も解消できたりと参加者も満足していました。



休憩時間や終了後も参加者の方々の質問が続きました。

交流懇親会

卒業研修会終了後には、場所を移動して「交流懇親会」を開催いたしました。

今回も、職種、経験年数、地域などの囲いを越えた、通常とは一味違う『貴重な情報を得られる場』として参加者から喜びの声をいただきました。

なかには、親交を深めると同時に、貪欲に経験・知識を学ぼうと、時間が経つのも忘れてしまうぐらい熱心な議論が行われておりました。

今回は、2011年6月、台湾で開催された「第17回国際ピアノ製造技術調律協会(IAPBT)大会」の技術セミナーにて、世界各国の技術者から大好評を得ました台湾調律師協会第7代会長 林大嘉氏をお招きし、「UPピアノのスピード整音」の技術研修を実施いたしました。

昨今、中古ピアノに対するリビルドの仕事が増加してきており、その仕事の効率を図るためにも非常に便利な工具が林氏により考案されており、その工具の数々を使い、スピードを実現する整音・整形の方法をご紹介していただきました。



林氏が考案した工具の一部。参加者には、記念品として林氏の工具が配られました。



ハンマーにどの角度で針を刺すのかわかる工具です。ハンマーの向きにより、矢印が動く。



懇親会は、和気あいあいと行なわれるとともに、貴重な情報交換の場となりました。

【就職支援係より】

本校では、楽器業界に有益な人材を育成するため、さまざまなオーナー様のご意見を伺っております。知識と技術の研鑽はもちろんのこと、常識力や社会性にも力を注いでおります。

現在、夏休みや春休みなどの長期休暇の折に、学生の訪問や見学、研修などをお受けいただいたり、卒業前に内定企業様での実務研修を実施していただいております。

そのような中、学生あるいは本校に対してのご意見がおりになる場合は、遠慮なくご連絡頂ければ幸いです。より良い人材育成のため、精進努力して参ります。